

連携計画の見直し方針

1.連携計画見直しの方向性

○奈良中心市街地の現状と課題を把握し、計画目標及び実施施策・モニタリング指標等の状況に応じて見直す。

(現) 連携計画	見直しの方向性
1. 計画の概要 1.1 計画の目的、1.2 計画の位置づけ 1.3 計画対象区域、1.4 計画対象期間	○奈良中心市街地の現状と課題から必要に応じて見直し
2. 前回計画策定時からの交通状況の変化 2.1 前回計画の計画目標と取組内容、2.2 計画目標の達成状況 2.3 主要施策の概況、2.4 交通状況の変化 2.5 観光形態の変化、2.6 主要施策の効果と課題	○2019年度の奈良中心市街地の交通課題を再整理
3. 奈良中心市街地の目指すべき交通のすがた 3.1 基本理念、3.2 計画目標	○現連携計画の目標達成状況に応じて見直し
4. 実施施策 4.1 施策体系、4.2 事業スケジュール 4.3 施策概要 施策1～施策9	○奈良中心市街地の現状と課題に応じて見直し ○施策の取り組み状況および効果把握における指標の妥当性の観点から見直し
5. 推進体制 5.1 推進体系 5.2 事業推進に係る目標達成状況および施策効果検証の実施	○現連携計画の内容を踏襲
【参考資料】検討の経緯	○現連携計画の内容を踏襲

2. 奈良中心市街地の現状・課題と見直し方針

計画目標	目標達成状況	主な課題
①渋滞の緩和	○西行が目標未達成のため、引き続き計画目標として設定する	<ul style="list-style-type: none"> ○大宮通りの渋滞解消を通じた旅行速度の向上 ○新たに整備されたP&Rの運用 ○P&R駐車場の利用促進(インセンティブなしで、無料駐車場とJR奈良駅地下駐車場の利用促進) ○帰宅時間の分散 ○自動車へのリアルタイム交通情報提供 ○大型車(観光バス)を対象としたTDMの実施
②奈良公園・中心市街地の移動環境の向上	○目標達成のため、計画目標及び目標値を見直す	<ul style="list-style-type: none"> ○公共交通による奈良中心市街地来訪者の増加 ○中心市街地内公共交通の利便性向上 ○平城宮跡と奈良公園エリア間の周遊拡大
③マイカー通勤から他の通勤手段への転換	○目標未達成のため、引き続き計画目標として設定する	<ul style="list-style-type: none"> ○各事業所におけるマイカー通勤抑制の推進と行政支援



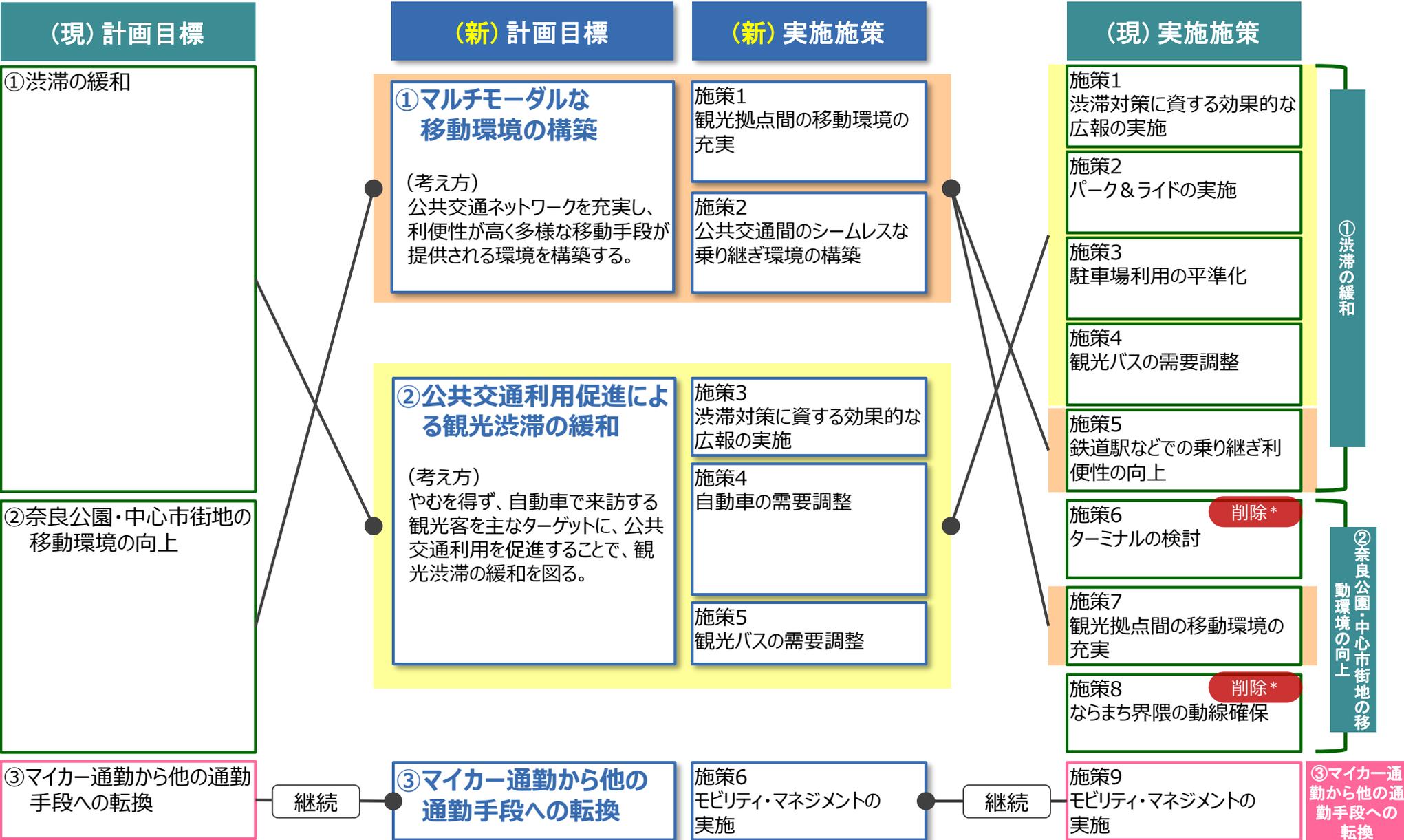
連携計画の 主な見直し 方針

- ①渋滞緩和を目的に自動車から公共交通への更なる転換を図るため、
施策体系を見直す
- ②奈良公園・中心市街地の移動環境の向上が目標を達成したため、
計画目標を見直す
- ③令和2年春に奈良県コンベンションセンターがオープンし、駐車場の一部を
P&R駐車場として運用することから、**新たな実施施策に位置づける**

3. 施策体系の見直し

○公共交通利用促進を主眼とした施策体系に見直す

* 概ね事業が完了したため削除する



①マルチモーダルな移動環境の構築の目標見直しについて (旧：②奈良公園・中心市街地の移動環境の向上)

○計画目標②奈良公園・中心市街地の移動環境の向上について、目標を見直す。

○計画目標を公共交通利用の入込客数に見直す。

○現況値は、奈良市観光入込客数調査報告より**1,547万人 (H30)** である。

○目標値は、平成24年以降の公共交通利用の入込客数からトレンドを推計し、**1,712万人以上 (R3)** ※を目標とする。

※R4に次期連携計画を見直すため、目標値の年度はR3とする。

※『奈良市まち・ひと・しごと創生総合戦略』の観光入込客数（全手段）の目標値は1,753万人以上（R2）

計画目標の見直し

指標案：公共交通利用の入込客数

(出典：奈良市観光入込客数調査報告の利用交通機関別入込客数より、鉄道とバスの利用者数を公共交通利用の入込客数とする)

1,547万人 (H30)

※軌道利用者(1,045万人) + バス利用者(502万人)

目標値の設定

○平成24年以降※¹の公共交通利用者の入込客数をもとに目標を設定する。

○平成24年～平成30年の数値を基にトレンドを推計し※²、

目標値を**1,712万人**とする。

※¹：平成22～23年の遷都1300年祭、平成23年の東日本大震災の影響を考慮し、平成24年以降とする

※²：トレンド推計の結果、以下のモデルを想定

$$y = 611.2x + 11109.6 \text{ (決定係数 } R^2 = 0.9798 \text{)}、 y : \text{公共交通利用の入込客数 } x : \text{年数}$$

→決定係数：回帰分析における説明変数に対する予測値の説明力を表す変数。0から1の間の値をとり、1に近いほど説明力が高い。

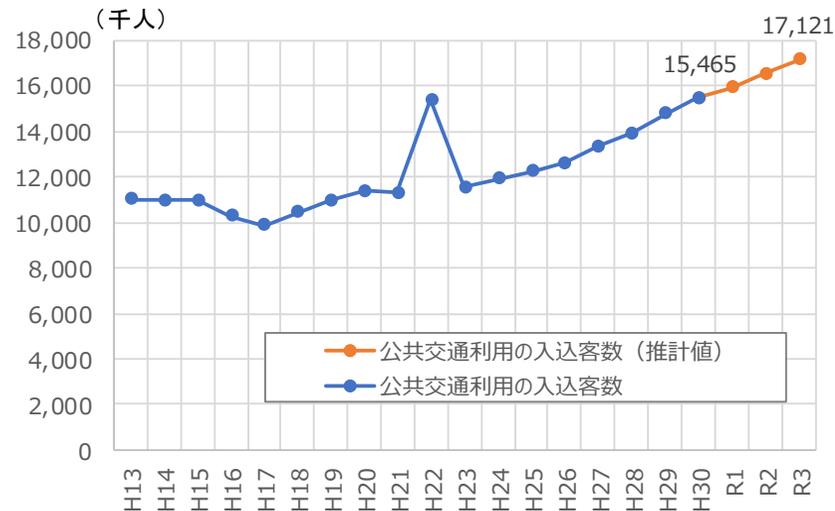


図.公共交通利用の入込客数の推移と推計値

5. 取り組み施策・モニタリング指標の見直し

施策の取り組み概要と取り組み方針

赤字:追加項目 緑字:見直し項目

(新) 計画目標	(新) 実施施策	(旧) 取り組み概要	取り組み方針
① マルチモーダルな移動環境の構築	施策1 観光拠点間の移動環境の充実	○観光拠点間の移動環境の充実	○継続実施 ○自転車利用環境の充実
	施策2 公共交通間のシームレスな乗り継ぎ環境の構築	○情報案内強化による乗り継ぎ利便性の向上 ○木簡型一日乗車券の企画・販売	○継続実施 ○奈良県コンベンションセンター・大和西大寺駅前広場等の交通結節点化 ○バスロケーションシステムの運用
② 公共交通利用促進による観光渋滞の緩和	施策3 渋滞対策に資する効果的な広報の実施	○鉄道駅・高速SA/PAなどにおけるチラシの留め置き・ポスターの掲示 ○観光パンフレットを用いたマイカー利用削減のための広報実施 ○ホームページの充実 ○P&Rの利用促進に資するラジオ・道路情報板などでの情報提供	○継続実施 ○SNSでの広報実施 ○アクセスナビのスマホ用ページ作成 ○ラジオ放送の取り止め ○分かりやすい駐車場案内の整備
	施策4 自動車の需要調整	○P&Rの実施・利用促進 ○P&R駐車場におけるレンタサイクル事業の実施 ○分かりやすい駐車場案内の整備 ○JR奈良駅周辺駐車場の利用促進	○継続実施 ○奈良県コンベンションセンター駐車場でのP&R実施
	施策5 観光バスの需要調整	○観光バスの需要調整	○継続実施
③ マイカー通勤から他の通勤手段への転換	施策6 モビリティ・マネジメントの実施	○モビリティ・マネジメントの実施	○継続実施

5. 取り組み施策・モニタリング指標の見直し

施策の取り組み概要と取り組み方針

赤字:追加項目 緑字:見直し項目

(新) 計画目標	(新) 実施施策	(旧)モニタリング指標	見直し方針
①マルチモーダルな移動環境の構築	施策1 観光拠点間の移動環境の充実	指標：ぐるっとバス利用者数	○モニタリングの継続
	施策2 公共交通間のシームレスな乗り継ぎ環境の構築	指標：木簡型一日乗車券の販売枚数	○モニタリングの継続 ○バスロケーションシステムのアクセス数の追加
②公共交通利用促進による観光渋滞の緩和	施策3 渋滞対策に資する効果的な広報の実施	指標①：チラシおよびポスター配布枚数・箇所数 指標②：ホームページアクセス数 指標③：ラジオ放送回数 参考値：公共交通とP&Rの分担率	○モニタリングの継続 ○SNS発信に関するモニタリング追加 ○ラジオ放送回数の削除
	施策4 自動車の需要調整	指標①：P&R利用台数 指標②：P&CR利用者数 指標：JR奈良駅市営駐車場の利用台数	○モニタリングの継続
	施策5 観光バスの需要調整	指標：大仏殿前駐車場の予約台数・予約率	○奈良公園バスターミナルの予約台数に変更
③マイカー通勤から他の通勤手段への転換	施策6 モビリティ・マネジメントの実施	指標①：マイカー通勤抑制措置の取組割合 指標②：公共交通通勤への呼びかけ割合 指標③：交通マネジメントの実施割合	○モニタリングの継続

奈良県コンベンションセンターP&R駐車場について

- 収容台数全400台のうち、一部をP&R駐車場として通年で運用
- 木簡型一日乗車券の販売所を設置
- 木簡型一日乗車券を1,000円分以上購入した方は、駐車料金（1,000円）を無料
- 本駐車場を利用してリムジンバスを利用される方は、駐車料金の一部（24時間分1,000円）を無料



見直しスケジュール

第38回 協議会(令和元年7月30日)

【協議内容】

- 平成31年(令和元年)春期の取組内容と結果
 - ・取組状況
 - ・連携計画の目標達成状況
- 令和元年秋期の取組内容(案)
- 連携計画見直し方針



次回 協議会(令和元年12月頃(予定))

【協議内容】

- 奈良中心市街地公共交通総合連携計画(案)
(令和2年度～令和4年度)